

会 告

日本鉄鋼協会 第59回通常総会 開催ご案内  
第87回講演大会

会 員 各 位

日本鉄鋼協会会長 中 野 宏

本会は昭和 49 年 4 月 2 日 (火) 第 59 回通常総会を、4 月 2 日(火)、3 日(水)、4 日(木)の 3 日間第 87 回講演大会を日本大学生産工学部で開催いたしますので、何卒ご出席下さいますようお願い申し上げます。詳しくは「鉄と鋼」第 4 号講演概要集に掲載いたします。懇親会、ジュニアパーティーの申込は本誌会告添付の申込書でお申し込み下さい。

記

日 程	4 月 2 日 (火)	9:30	学 術 講 演 会
		13:00	第 59 回通常総会, 名誉会員推挙式, 表彰式 特 別 講 演 会
		17:30	懇 親 会
4 月 3 日 (水)	9:30	学術講演会, 特別講演会	
	13:00	学術講演会, 討論会	
	17:30	ジュニアパーティー	
4 月 4 日 (木)	9:30	学術講演会, 委員会報告講演	
	13:00	学術講演会, 討論会	

会 場	講 演 会	日本大学生産工学部10号館, 5階
	通常総会	日本大学生産工学部12号館4階B教室
	特別講演会	
	懇 親 会	〃 2号館食堂
	ジュニアパーティー	〃 〃
場 所	千葉県習志野市泉町1-2-1 Tel. 0474-73-1211(代)	

第 88 回 (秋季) 講演大会開催日程のお知らせ

第 88 回 (秋季) 講演大会は、昭和49年11月 3 日(日)、4 日(月)、5 日(火)近畿大学で開催されます。講演募集締切は 7 月末日の予定です。

近畿大学：東大阪市小若江 3111

## 第 26 回西山記念技術講座開催のお知らせ

—— テーマ：構造用鋼の非金属介在物に関する諸問題 ——

主催 日本鉄鋼協会

第 26 回西山記念技術講座を九州ならびに東京で下記により開催いたしますので、多数ご来聴下さるようご案内いたします。

### I 第 26 回 (東京地区)

- 1 期日 昭和49年5月23日(木), 24日(金)
- 2 会場 農協ホール (千代田区大手町 1-8-3 農協ビル 9階 TEL 03-279-0311)

### II 演題ならびに講師

第 1 日	9:30~12:00	鋼塊内の酸化物系大型介在物について	新日本製鉄(株)	梶岡博幸
	13:00~15:00	介在物の防止, 除去対策	住友金属工業(株)	田上豊助
	15:00~17:00	鉄鋼の諸性質におよぼす非金属介在物の影響	(株)神戸製鋼所	成田貴一
第 2 日	9:30~12:00	鋼中硫化物とその減少対策	川崎製鉄(株)	江島彬夫
	13:00~15:00	硫化物系介在物と鋼の延性および靱性	日本鋼管(株)	小指軍夫
	15:00~17:00	鋼中介在物と疲労その他の性質	東京大学	荒木透

### III 講演内容

- 1 鋼塊内の酸化物系大型介在物について 梶岡博幸  
鋼材品質や鋼材歩留に強く関係し、鋼塊の致命的欠陥の1つと考えられている酸化物系大型介在物の製鋼工程での挙動について、最近の研究成果をもとに概説した。特に、大型介在物の軽減防止対策の確立に資するため、大型介在物の鋼塊内での分布状況を実用鋼塊の切断例により示し、それをもとに鋼塊内での介在物の分布を支配する要因や介在物の起源について詳述した。
- 2 介在物の防止, 除去対策 田上豊助  
溶鋼の脱酸法, 造塊時および連铸時の介在物の防止, 除去対策について概観する。  
脱酸は酸化介在物の質を左右するので、脱酸剤の種類, 添加量, 添加方法が重要となる。  
造塊, 連铸時の対策として空気酸化の防止, 耐火物, 被覆剤の混入防止, 铸型内の浮上分離の促進と, それを妨害するマッシュゾーンの生成などについて述べる。
- 3 鉄鋼の諸性質におよぼす非金属介在物の影響 成田貴一  
鉄鋼中の非金属介在物と鋼の諸性質, とくにじん性, 疲労におよぼすその影響について, 斯界の研究の概要を述べる。
- 4 鋼中硫化物とその減少対策 江島彬夫  
鋼の凝固過程における硫化物の生成に関する基礎研究の結果と鋼塊および連铸铸片における硫化物の性状ならびにその分布についての観察を整理し, ついで, たとえば寒冷地向ラインパイプ材のように破面遷移温度, シェルフエネルギー, セパレーションなどに対する要求がきびしい材料の製造に供する大型鋼塊の硫化物形態調整とそれに必要な製鋼条件, さらに, 全般的に鋼中硫化物の減少対策について述べる。
- 5 硫化物系介在物と鋼の延性および靱性 小指軍夫  
鋼中の MnS 介在物は延性を低下させ, また異方性の原因になる。ここではその実態を明らかにするとともに, クロス圧延, 介在物形状制御の効果, 破壊機構に関する最近の研究結果などにつき述べる。靱性については不明な点が多いが, 現状の知識の要約を試みる。
- 6 鋼中介在物と疲労その他の性質 荒木透  
鋼中の非金属介在物の疲れ性質に及ぼす影響をまず金属組織学的に解説し, 硫化物, 酸化物, 鉛系介在物などの介在物の疲れ破壊特性への影響に関する従来の研究結果の展望綜括を行なう。続いて主として加工性被削性に対する介在物の役割りについての知見をミクロ組織と延性の面からとりあげ解説を試みたい。

IV 聴講無料 (事前の申込みは必要ありません)

V テキスト 2000 円

VI 問い合わせ先 日本鉄鋼協会編集課 千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 Tel. 03-279-6021

## 第 87 回講演大会懇親会開催のお知らせ

本会では第 87 回講演大会を昭和 49 年 4 月 2 日(火)、3 日(水)、4 日(木)の 3 日間日本大学生産工学部(千葉県習志野市泉町1-2-1)において開催いたしますが、講演大会に際し全国各地からお集まりになる会員各位の親睦の場として、下記のごとく懇親会を開催いたします。

会費などについても、より多くの方々にお気軽にご参加いただけるようにいたしました。

また、この機会に会員各位ご夫人同伴でご参加いただき、より明るい雰囲気のカ催しとしたいと思いますので、多数ご参加下さるようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 昭和 49 年 4 月 2 日(火) 17:30~19:30
2. 会 場 日本大学生産工学部内 2 号館食堂
3. 会 費 1 500 円
4. 申込締切日 昭和 49 年 3 月 20 日(水) 17 時着信まで
5. 申 込 方 法 下記申込書に必要事項ご記入のうえ会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。
6. 申 込 先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階  
日本鉄鋼協会懇親会係 Tel. 03-279-6021 (代)

.....切.....取.....線.....

## 第 87 回講演大会「懇親会」参加申込書

申込締切日 昭和 49 年 3 月 20 日(水) 17 時着信まで

送付方法 申込書添付のうえ現金書留にてお申し込み下さい。

送付先 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 郵便番号 100

日 本 鉄 鋼 協 会 懇 親 会 係

会 員 資 格	賛 助	正	学 生	該 当 を ○ で 囲 ん で 下 さ い。
ふりがな				
氏 名.....				
勤務先および				
職 名.....				
勤務先所在地..... (郵便番号 )				
領収書送付先..... (郵便番号 )				
通信先(勤務先と違う場合)..... (郵便番号 )				
ご夫人名			送金額 ¥ 1 500	

## 第 87 回講演大会ジュニアパーティー開催のお知らせ

本会では来る 4 月 2 日(火)、3 日(水)、4 日(木)の 3 日間日本大学生産工学部において、第 87 回講演大会が開催される機会に、ジュニアパーティーを開催いたします。

ジュニアパーティーは会員は誰方でも気軽に参加でき、自由放談、親睦交歓の場として催されておりますが、前回から新しい企てとして講演座長、協会の各種研究委員会などの委員長の中から数名の方をお招きし、これらの方々を囲み技術面あるいは研究面で苦心している点、最近のトピックスなどを語り合える機会を作ること考えました。同時に講演会場では十分でなかつた討論の継続もしていただいても結構です。

多くの会員が専門と年齢を離れて集い、大いに語り合い楽しくくつろいだひとときを過していただくために、気軽に参加がいただけるよう会場も講演会場内の大学食堂といたしました。

お誘い合せのうえ多数の方々がご出席下さるようご案内いたします。

### 記

1. 日 時 昭和 49 年 4 月 3 日 (水) 17:30~19:30
2. 会 場 日本大学生産工学部 2 号館食堂
3. 会 費 1000 円
4. 申込締切日 昭和 49 年 3 月 25 日 (月)
5. 申込方法 下記申込書に必要事項ご記入のうえ会費 (現金書留) を添えお申し込み下さい。
6. 申込先 〒 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階  
日本鉄鋼協会ジュニアパーティー係 TEL 03-279-6021

.....切.....取.....線.....

## 第 87 回講演大会ジュニアパーティー参加申込書

申込締切日 昭和 49 年 3 月 25 日 (月)  
 送付方法 申込書添付のうえ現金書留にてお払込み下さい。  
 送付先 〒 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階  
 日本鉄鋼協会ジュニアパーティー係

会員資格	正	学生	該当を○で囲んで下さい。
ふりがな 氏 名	.....		
勤務先および* 所属部課名	.....		
勤務先所在地	..... (郵便番号) .....		
領収書送付先	..... (郵便番号) .....		
通信先(勤務 先と違う場合)	..... (郵便番号) .....		
送金額	¥ 1000		

注) \*印欄はネームカードを作成いたしますので、詳細にご記入下さるようお願い申し上げます。

### 最近の接着の問題と応用に関する講習会

主催 日本材料学会 協賛 化学工学協会, 日本鉄鋼協会, ほか

期 日 昭和49年4月25日(木), 26日(金)

会 場 大阪科学技術センター 401号室  
大阪市西区靱1丁目 118

第1日(25日)

9:30 接着とは何か 阪市大工 井本 立也

12:30 接着に関する最新の方法(I)

金属の接着 阪府工技研 中尾 一宗

14:40 樹脂の接着 積水化学 垂水 実

16:40 質疑応答

第2日(26日)

9:30 強い接着への理論的アプローチ

群馬大工 畑 敏

12:30 雄接着に関する最新の方法(II)

コンクリートの接着 大成建設 鶴田 康彦

14:40 木材の接着 近畿大農 浜田 良三

16:40 質疑応答

参加料 主催協賛学会会員 10,000 円,  
非会員 14,000 円 (いずれもテキスト含)

定 員 80 名

申込締切 4月20日(土)

申込方法 氏名, 所属, 連絡先, 所属学協会名などを明記のうえ参加料を添えて期日までに次へお申込み下さい。

申込先 日本材料学会講習会係  
京都市左京区吉田泉殿町1の101  
振替口座京都 26625 番  
TEL (075) 761-5321

### 原子力構造機器の材料・設計・施工・検査に関する講習会

日本鉄鋼協会, ほか

1. 期 日 昭和49年3月11日(月), 12日(火),  
13日(水) 3日間

2. 会 場 全共連ビル大会議室(4F)  
東京都千代田区平河町2丁目7番地  
(03) 265-3111 (大代表)

3. 定 員 150名(2月末日締切)  
ただし, 定員に達し次第期日前でも締切ますので早目にお申込み下さい。

4. 聴 講 料 35,000円(下記資料, テキスト代を含む) ただし, 原子力研究委員会会員会社は 30,000円

5. テキスト

1. 高速炉構造用ステンレス鋼の溶接施工に関するもの A 4判約 150頁

2. 原子炉配管係要素の構造設計基準確立に関するもの B 5判約 300頁

3. 原子炉耐圧部の不安定破壊に対する安全性に関するもの B 5判約 300頁

4. ◎原子炉構造機器の材料・設計・施工・検査に関するテキスト A 4判約 300頁

(講習会事務局)

社団法人 日本溶接協会原子力研究委員会  
東京都千代田区神田佐久間町1-11 黒田ビル  
電話 (253) 0581~3 (直通)

### 第5回(昭和49年度)

#### 三菱財団自然科学研究助成応募要項

#### 1. 助成の趣旨

自然科学の基礎分野における重要かつ独創的な研究を助成して, わが国基礎科学部門の一層の向上, 発展を期待するものであります。

このため, 本年度は下記の分野を重点的に助成の対象とすることにいたします。しかし, その他の分野における研究も, 勿論選考の対象から除外するものではありません。

また, この助成金は研究達成のためにもつとも有効に使用されるようにいたしたいので, その用途はとくに制限いたしません。

#### 2. 重点対象分野

(1) 表面, 薄膜, 微粒子など低次元物質系の物理の基礎的研究。

(2) 極限状態のもとでの物理・化学現象の研究。

(3) 化学および物性分野における新しい原理による新測定方法の研究。

(4) 非定常な流体運動の実験的研究。

(5) 動物行動の感覚生理学的研究。

(6) 生物活性物質の生物変換機構に関する研究。

(7) 生体防衛機構に関する基礎的研究。

(8) 臓器の機能および構築に関する基礎的研究。

#### 3. 助成の金額と期間

##### 1. 金 額

### 1974年材料の力学的挙動に関するシンポジウム

#### The 1974 Symposium on Mechanical Behavior of Materials

期 日 昭和49年8月21日~24日

場 所 国立京都国際会議場(京都市左京区宝ヶ池)

世話学会 社団法人日本材料学会

シンポジウムの具体的なセッション・テーマは, 材料の種類によらず現象別に, 変形機構, 変形の力学, 破壊機構, 破壊の力学, 疲労, 疲労き裂伝ば, 高温強度, 環境効果材料の強化などであつて, 講演者としては, 国外から S. J. Green, F. R. Eirich, H. Liebowitz, G. C. Sik, R. C. Bates, H. D. Steffens, R. A. Dodd, I. I. Kornilov, L. E. Culver, D. Taplin, W. S. Owen などが出席の予定であり, 他にも J. C. Rice, R. J. Charles, A. Kelly, V. F. Zackey などに講演を依頼する予定です。また, これらの講演者に対して日本からも著名な研究者を選出して講演を依頼するとともに, 一部, 一般からの講演募集も行なうつもりです。

シンポジウムに関するお問い合わせ

詳細については, 後日サーキュラーにて公表いたします。サーキュラーの請求は, 上記世話学会の材料学会材料強度部門委員会にお申し出下さい。

総額 約2億円, 1件3千万円以内。(本年度は20件以内を目標とします)

今回は, 当財団設立5周年に当たりますので, 本年度に限り助成金額を2倍に増額いたしました。

#### ロ. 期間

1年を原則とします。研究計画の都合上継続を必要とする場合は, 毎年提出された計画書にもとづき選考いたします。

#### 4. 応募方法

当財団所定の応募用紙に必要な事項をご記入のうえ, 当財団宛ご送付願います。応募用紙はご請求あり次第お送りいたします。

#### 5. 応募締切日

昭和49年5月31日(金)

#### 6. 選考方法

下記委員からなる選考委員会において選考のうえ, 9月上旬開催の当財団理事会で決定します。

兼重寛九郎(委員長)	蓮沼 宏
影山 圭三	樋口 一成
久保 亮五	藤井 隆
清水 文彦	谷 一郎
森野 米三(敬称略)	

#### 7. 助成金の贈呈 昭和49年10月9日(水)

#### 8. 申込書送付先 財団法人 三菱財団

〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号

三菱ビルヂング 15階

電話 東京(03)214局5754番

### 発明実施化試験費補助金の申請受付について

一発明考案の実施化試験に対しては国の補助が受けられる一

国産新技術の開発の基盤は創造性の豊かな発明考案にあるといわれています。

そこで科学技術庁においては, 民間の科学技術研究活動による貴重な成果の実用化を促進するために標記の制度を設けて, 優秀な発明が資金不足のために実施化されずに埋れることのないように, 特許権あるいは実用新案権を有する人およびその権利の実施許諾を得た人などに対し補助金を交付し, 発明考案の実施化の促進助成を行なっています。

昭和49年度の本制度による申請を受付けていますので, 申請希望者は昭和49年3月15日までに下記の要領で申請して下さい。

#### 1. 申請手続

##### (1) 申請書の受付期間

昭和49年1月12日から昭和49年3月15日まで

##### (2) 申請書の提出先 申請者の所在地(現住所)を管轄する都道府県(窓口はおおむね商工部工業課が担当しています)

##### (3) 提出書類 正本1通, 副本3通を作成し, これ

に当該発明考案に係る特許または実用新案公報, 出願中のものについては出願書類の写しを添付します。

なお, 申請書は一定様式が決められていますので, 各都道府県の担当窓口でお尋ね下さい。

#### 2. 交付対象および申請者の資格

(1) 交付の対価 発明考案で, (イ)特許権または実用新案権, (ロ)特許出願または実用新案登録出願(昭和48年6月30日までに)出願したもの。ただし昭和46年1月1日以後に出願したものについては補助金の交付申請の日までに)出願審査の請求をしたものに限る)

(2) 申請者の資格 個人または法人(資本金10億円以下)

なお, 問合せ先申請書様式, 規則などの詳細については下記にお問合せ下さい。

〒100 東京都千代田区霞が関2の2の1  
科学技術庁振興局奨励課 TEL(581)5271 内線502

### 日本鉄鋼協会会員名簿発行のお知らせ

さて, 昨年ご送付いただきました会員名簿調査カードをもとに, このたび'73, 74年度版会員名簿を発行いたしました。購入ご希望の方は, 下記へお申し込み下さい。

#### 1. 代金 会員 500円, 非会員 1000円

(送料本会負担)

#### 2. 送金先 100 東京都千代田区大手町1-9-4

経団連会3館 日本鉄鋼協会庶務課

TEL 03-279-6021

#### 3. 送本 上記金額入金次第ご送付いたします。

### 東北大学金属材料研究所教官公募

下記により公募を行ないますので, 適任者の推薦, 希望者の応募をお願いいたします。

公募人員: 教授1名

所属部門名: 金属表面化学部門

研究分野: 金属表面の化学反応性, 表面化学反応に伴なう材料の諸性質の変化ならびにこれらの性質に関連ある表面構造の研究を行なう。

着任時期: 昭和50年4月

提出書類: 履歴書, 研究経歴書, 業績リスト, 主要論文別刷, 今後の研究計画書(簡単なものでよい)推薦の場合は他に推薦書

公募締切: 昭和49年5月末日

宛先および連絡先: (〒980)仙台市片平2-1-1 東北大学金属材料研究所金属表面化学部門教授推薦選考委員会

委員長 鈴木 進

(電話(0222)27-6200 内線2953)